

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【公表番号】特表2009-521475(P2009-521475A)

【公表日】平成21年6月4日(2009.6.4)

【年通号数】公開・登録公報2009-022

【出願番号】特願2008-547604(P2008-547604)

【国際特許分類】

A 6 1 K	36/18	(2006.01)
A 6 1 K	36/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/16	(2006.01)
A 6 1 K	31/353	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
A 2 3 L	1/30	(2006.01)
A 2 3 G	1/00	(2006.01)
A 2 3 G	1/30	(2006.01)
A 2 3 L	2/52	(2006.01)
A 2 3 L	2/38	(2006.01)
A 2 3 K	1/16	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	35/78	C
A 6 1 K	35/78	X
A 6 1 P	17/16	
A 6 1 K	31/353	
A 6 1 P	17/02	
A 2 3 L	1/30	B
A 2 3 G	1/00	
A 2 3 L	2/00	F
A 2 3 L	2/38	C
A 2 3 K	1/16	3 0 4 C
A 2 3 K	1/16	3 0 2 B

【誤訳訂正書】

【提出日】平成21年12月21日(2009.12.21)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0016

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0016】

ここで、

nは2~18の整数であり、

RおよびXはそれぞれ、または型の立体化学を有し、

RはOHまたはO-糖であり、

C-4、C-6およびC-8の置換基はそれぞれX、ZおよびYであり、モノマー単位の結合がC-4、C-6またはC-8の位置で生じ、

C-4、C-6またはC-8のいずれも別のモノマー単位と結合しない場合は、X、YおよびZはそれぞれ、水素または糖であり、

糖は、随意的に、例えばエステル結合を介してなど、いずれかの位置においてフェノ-

ル部分で置換される。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0019

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0019】

ここで、

nは2～18の整数であり、

RおよびXはそれぞれ、または型の立体化学を有し、

RはOHであり、

C-4、C-6およびC-8の置換基はそれぞれX、ZおよびYであり、モノマー単位の結合がC-4、C-6またはC-8の位置で生じ、

C-4、C-6またはC-8のいずれも別のモノマー単位と結合しない場合は、X、YおよびZはそれぞれ水素である。

本発明に係る製品および方法に有用な化合物の例としては、本明細書に記載される化学式Aの化合物が挙げられ、ここで整数nは、3～18、2～12、3～12、2～5、4～12、5～12、4～10、または5～10である。一部の実施の形態では、整数nは、2～4であり、例えば2または3である。この開示は、本明細書の化学式Aのいずれの化合物にも適用される。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0027

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0027】

ここで、

nは2～18の整数であり、

RおよびXはそれぞれ、または型のいずれかの立体化学を有し、

RはOHまたはO-糖であり、

C-4、C-6およびC-8の置換基はそれぞれX、ZおよびYであり、モノマー単位の結合がC-4、C-6またはC-8の位置で生じ、

C-4、C-6またはC-8のいずれも別のモノマー単位と結合しない場合は、X、YおよびZはそれぞれ水素または糖であり、

糖は、随意的に、例えばエステル結合を介してなど、いずれかの位置においてフェノール部分で置換される。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0030

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0030】

ここで、

nは2～18の整数であり、

RおよびXはそれぞれ、または型のいずれかの立体化学を有し、

RはOHであり、

C-4、C-6およびC-8の置換基はそれぞれX、ZおよびYであり、モノマー単位の結合がC-4、C-6またはC-8の位置で生じ、

C-4、C-6またはC-8のいずれも別のモノマー単位と結合しない場合は、X、YおよびZはそれぞれ水素である。

## 【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

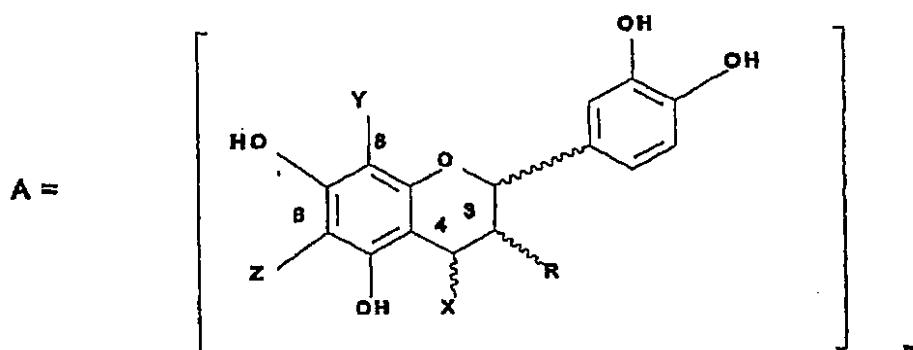
【請求項 1】

対象における肌質を改善する方法に使用するための組成物であって、前記使用が経口投与によって行われ、ここで前記組成物が、

- (i) カカオ成分と、
- (ii) エピカテキン、カテキンおよびそれらの誘導体から選択される化合物であって、前記誘導体が没食子酸誘導体ではない、化合物と、
- (iii) 下記化学式 A を有する化合物、またはその薬学的に許容される塩または誘導体と、

を有効量で含むことを特徴とし：

【化 1】



ここで、

n は 2 ~ 18 の整数であり、

R および X はそれぞれ、または 型の立体化学を有し、

R は OH または O - 糖であり、

C - 4、C - 6 および C - 8 の置換基はそれぞれ X、Z および Y であり、モノマー単位の結合が C - 4、C - 6 または C - 8 の位置で生じ、

C - 4、C - 6 または C - 8 のいずれも別のモノマー単位と結合しない場合は、X、Y および Z は独立して水素または糖であり、

前記糖は、随意的に、いずれかの位置においてフェノール部分で置換される。

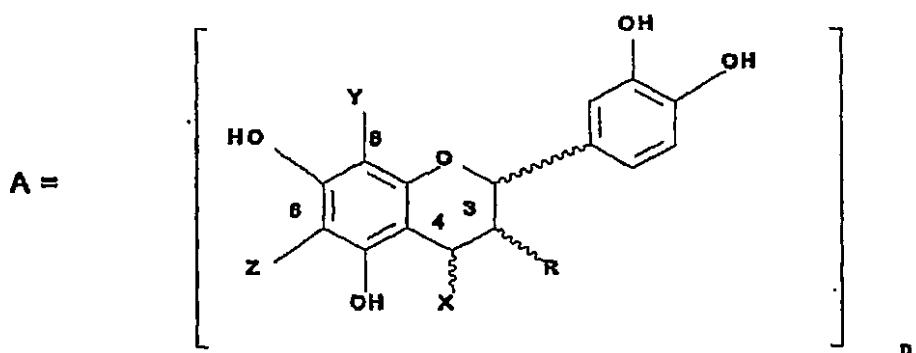
【請求項 2】

対象における、紫外線が引き起こす皮膚の紅斑および / または光老化の低減方法に使用するための組成物であって、前記使用が経口投与によって行われ、ここで前記組成物が、

- (i) カカオ成分と、
- (ii) エピカテキン、カテキンおよびそれらの誘導体から選択される化合物であって、前記誘導体が没食子酸誘導体ではない、化合物と、
- (iii) 下記化学式 A を有する化合物、またはその薬学的に許容される塩または誘導体と、

を有効量で含むことを特徴とし：

## 【化2】



ここで、

nは2～18の整数であり、

RおよびXはそれぞれ、または型の立体化学を有し、

RはOHまたはO-糖であり、

C-4、C-6およびC-8の置換基はそれぞれX、ZおよびYであり、モノマー単位の結合がC-4、C-6またはC-8の位置で生じ、

C-4、C-6またはC-8のいずれも別のモノマー単位と結合しない場合は、X、YおよびZは独立して水素または糖であり、

前記糖は、随意的に、いずれかの位置においてフェノール部分で置換される。

## 【請求項3】

前記対象が、動物であることを特徴とする請求項1または2記載の組成物。

## 【請求項4】

前記対象が、ヒトであることを特徴とする請求項1または2記載の組成物。

## 【請求項5】

前記組成物が、食品であることを特徴とする請求項1または2記載の組成物。

## 【請求項6】

前記食品が、ペットフードであることを特徴とする請求項5記載の組成物。

## 【請求項7】

前記食品が、飲料であることを特徴とする請求項5記載の組成物。

## 【請求項8】

前記組成物が、栄養補助食品であることを特徴とする請求項1または2記載の組成物。

## 【請求項9】

前記カカオ成分が、カカオ粉末、カカオ抽出物、またはチョコレート・リカーであることを特徴とする請求項1または2記載の組成物。

## 【請求項10】

前記(iii)の化合物の誘導体がメチル化誘導体であることを特徴とする請求項1または2記載の組成物。

## 【請求項11】

前記(ii)の化合物が(-)-エピカテキンであることを特徴とする請求項1または2記載の組成物。

## 【請求項12】

前記組成物が医薬品であることを特徴とする請求項1または2記載の組成物。

## 【請求項13】

前記(iii)に記載の化合物がプロシアニジン二量体であることを特徴とする請求項1、2または12記載の組成物。